

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2004 年 9 月 30 日 (30.09.2004)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2004/082543 A1

(51) 国際特許分類: A61F 13/00
(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/003755
(22) 国際出願日: 2004 年 3 月 19 日 (19.03.2004)
(25) 国際出願の言語: 日本語
(26) 国際公開の言語: 日本語
(30) 優先権データ:
特願2003-002253 2003 年 3 月 19 日 (19.03.2003) JP

LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

(71) 出願人 および
(72) 発明者: 押田 修枝 (OSHIDA, Nobue) [JP/JP]; 〒123-0841 東京都足立区西新井3-20-1 3-201 Tokyo (JP).

規則4.17に規定する申立て:

— USのための発明者である旨の申立て (規則4.17(iv))

添付公開書類:

— 国際調査報告書

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT,

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: TRACHEA INCISION INFECTION-PREVENTIVE GAUZE

(54) 発明の名称: 気管切開感染防止ガーゼ



(57) Abstract: A trachea incision infection-preventive gauze capable of solving medical problems, reducing labor, and solving design problems by covering the open window part of a trachea-incised patient with the gauze to hold moisture in a trachea and absorb and control infective microorganism making an access thereto. The gauze comprises a string fitted to a gauze body and is used after sterilization. The trachea-incised window part is covered like a curtain to hold the humidity in the trachea, absorb infective discharge with the gauze so that the infective discharge is not discharged directly to the outside, and protect against the entry of dirt and infective microorganism from the outside thereinto. Also, the string is bound at the rear of a neck to easily detach/attach the gauze, the attractiveness is improved, and economic problems are solved by allowing the gauze to be re-used three times after sterilization.

WO 2004/082543 A1



(57) 要約:

本発明は、気管切開患者の開窓部をガーゼで覆うことで、気管内の湿度の保持と感染性微生物の出入りを吸収・防御して、医学問題、手間の軽減、体裁の課題を解決する。

本発明の気管切開感染防止ガーゼはガーゼ本体に紐を付け、滅菌ごとに使用するもので、気管切開開窓部をカーテンの様に覆うことで、気管内の湿度の保持と感染性分泌物が外部へ直接排出されない様にガーゼで吸収するとともに、外部からの塵埃や感染性微生物の侵入を防御出来、又、紐を首の後ろで結んで着脱を簡単にした他、見た目の体裁のよさ、3回滅菌して使用出来る等経済問題も解決した。

明 細 書

気管切開感染防止ガーゼ

技術分野

本発明は、ガーゼ本体に紐を付けた、気管切開患者の使用する滅菌ガーゼに関するものである。

背景技術

気管切開開窓部の専用ガーゼは無く、看護婦向けの専門誌においても、「病院によっては種々の方法がとられるが、茶こしの上に濡れガーゼを置いたり、カニューレの口をガーゼでカーテンの様に覆ったりする工夫が必要である。」としか掲載されていない。

気管切開開窓部を覆うこと無く生活していると、気管内の湿度の低下や咳をする度に開窓部より感染性の分泌物が外部へ直接排出されたり、外部からの塵埃や感染性微生物が侵入する他、見た目も悪い。本発明は着脱が簡単で体裁もよく、前述の医学問題、手間の軽減、体裁の課題を解決しようとするものである。

本発明は、ガーゼ本体に紐を付け、滅菌（オートクレーブ）後に使用する。ガーゼで患者の気管切開開窓部をカーテンの様に覆い、気管内の湿度を保つとともに、感染性微生物の出入りをガーゼで吸収・防御し、又、紐を首の後ろで結んで簡単に着脱出来る様にした他、体裁の問題点を解決している。

2

発明の開示

本発明の気管切開感染防止ガーゼはガーゼ本体に紐を付け、滅菌（完全な無生物状態）後に使用するもので、気管切開開窓部をカーテンの様に覆うことで、気管内の湿度の保持と感染性分泌物が外部へ直接排出されない様にガーゼで吸収するとともに、外部からの塵埃や感染性微生物の侵入を防御でき、又、紐により着脱が簡単で、見た目の体裁もよい等の利点がある。

図面の簡単な説明

第1図は、本発明の気管切開感染防止ガーゼの一実施例を示す正面のイメージ。

第2図は、本ガーゼの横のイメージ。

第3図は、ガーゼ本体に紐を通した図。

第4図は、滅菌後の保存形態図。

発明を実施するための最良の形態

本発明を添付図面に従って一実施例を説明する。

第1図は、本発明ガーゼの正面と使用時の正面のイメージ、第2図は、斜め横と使用時の横のイメージ、第3図は、本体に紐を通した図を3種類（3-a、3-b、3-c）示した。

第4図は、本体に紐を付け、滅菌袋に入れて上下の口を機械で閉じて、滅菌した後の保存形態を示した。

本体ガーゼは材質は綿で、大きさは30×30cm（通称大学ガーゼと言う）1枚を横半分に、更に上下を半分に折り、間に綿の紐1×100cm（カニューレ帯と同様の物）を通して作る。紐は通しただけでも

3

綿の摩擦ではずれないが、紐の部分を縫い付けてもよい。

本体部は折ることで4枚重ねとなり、気管切開開窓部を覆うのに適当な大きさと厚みになる。

紐は首の後ろで着脱しやすい様に結ぶが、長い時はハサミで切る。

本体に紐を付けた状態で、滅菌袋に入れ上下の口を機械で閉じて、滅菌（オートクレーブ）をした後、密閉出来る滅菌戸棚で3カ月間保存出来る。有効期限後は再滅菌して更に3カ月使用出来る。再、再再滅菌する時は、滅菌袋を交換した方がよい。滅菌すると、ガーゼと紐は黄色味を帯びるが、医学的な問題は無い。

気管切開手術1週間後から、毎日、医師が処置とカニユーレの交換を行なうので、その時に覆いガーゼも交換するが、汚れた時は1日に2度交換する。

産業上の利用可能性

本発明の一実施例は上述の如き構成からなるものであるから、簡単に作れるうえ原価も安いので、大量生産大量販売の製品として、病院からのまとまった注文が期待出来るし、自宅療養患者用に滅菌したうえで包装に工夫することで、薬局等での販売も出来る。

請 求 の 範 囲

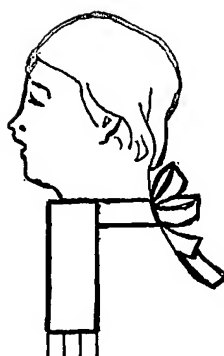
1. ガーゼ本体に紐を付けて、患者の気管切開した開窓部をカーテンの様に覆い、感染を防止するとともに、紐を首の後ろで結ぶことで着脱も簡単にした、滅菌して使用する、気管切開感染防止ガーゼ。

1/1

第 1 図



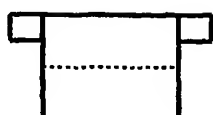
第 2 図



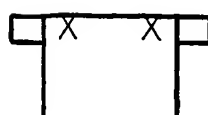
第 3 図 3 - a



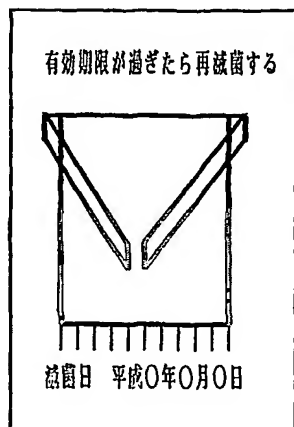
3 - b



3 - c



第 4 図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2004/003755

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁷ A61F13/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int.Cl⁷ A61F13/00, A61F2/20

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1926-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2004

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2004 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2004

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 3050081 U (Shiro KIYOSE), 15 April, 1998 (15.04.98), Page 6, lines 14 to 16; column 6, lines 20 to 22 (Family: none)	1
Y	JP 3032109 U (Sei AOKI), 25 September, 1996 (25.09.96), Page 3, lines 19 to 21 (Family: none)	1
A	JP 39-29955 Y2 (Anne Co., Ltd.), 10 October, 1964 (10.10.64), (Family: none)	1



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

20 April, 2004 (20.04.04)

Date of mailing of the international search report

18 May, 2004 (18.05.04)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61F13/00

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁷ A61F13/00, A61F2/20

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1926-1996年

日本国公開実用新案公報 1971-2004年

日本国実用新案登録公報 1996-2004年

日本国登録実用新案公報 1994-2004年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	J P 3050081 U (清瀬四郎) 1998. 04. 15, 第 6頁第14-16行、第6欄第20-22行 (ファミリーなし)	1
Y	J P 3032109 U (青木盛) 1996. 09. 25, 第3 頁第19-21行 (ファミリーなし)	1
A	J P 39-29955 Y2 (アンネ株式会社) 1964. 1 0. 10 (ファミリーなし)	1

☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

20. 04. 2004

国際調査報告の発送日

18.05.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

ニッ谷 裕子

3 B

9 3 3 9

電話番号 03-3581-1101 内線 3320

第IV欄 要約 (第1ページの5の続き)

本発明は、気管切開患者の開窓部をガーゼで覆うことで、気管内の湿度の保持と感染性微生物の出入りを吸収・防御して、医学問題、手間の軽減、体裁の課題を解決する。

本発明の気管切開感染防止ガーゼはガーゼ本体に紐を付け、滅菌ごとに使用するもので、気管切開開窓部をカーテンの様に覆うことで、気管内の湿度の保持と感染性分泌物が外部へ直接排出されない様にガーゼで吸収するとともに、外部からの塵埃や感染性微生物の侵入を防御出来、又、紐を首の後ろで結んで着脱を簡単にした他、見た目の体裁のよさ、3回滅菌して使用出来る等経済問題も解決した。